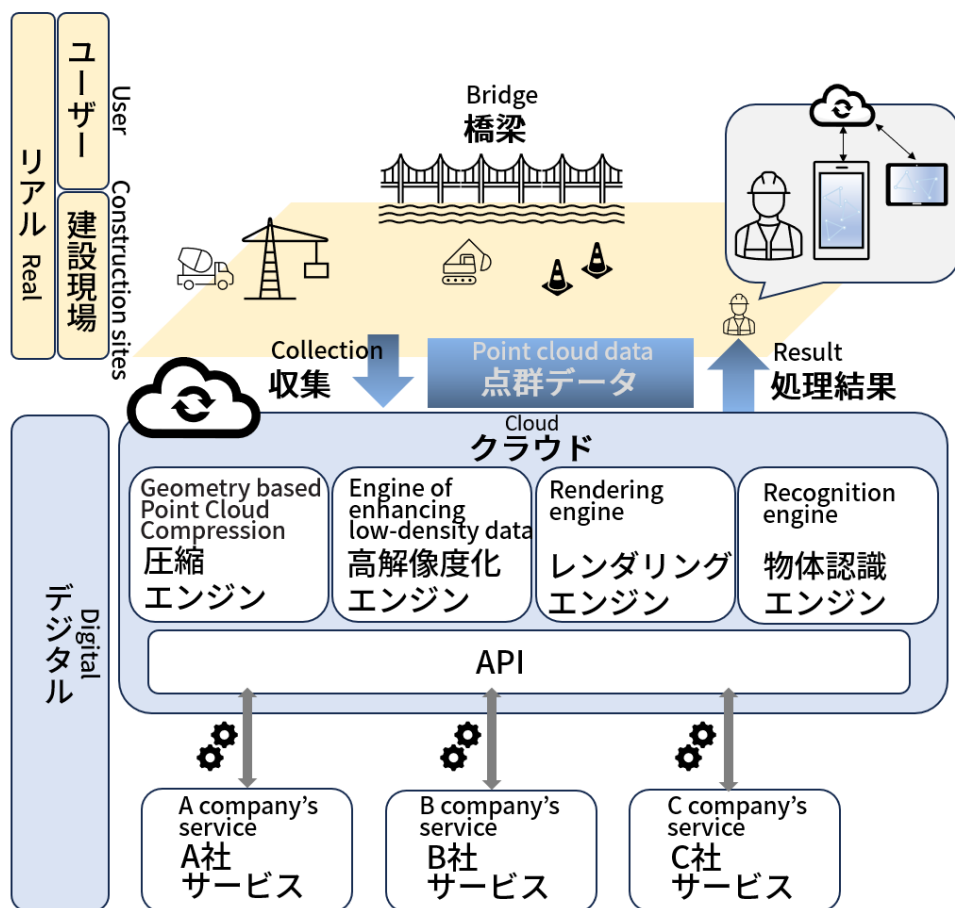


点群活用クラウドプラットフォーム

点群などの3Dデータの加工から業務活用まで、建設現場の場所や端末を問わずクラウド上で実施します

#業務効率化 #顧客体験価値向上



///技術課題

建設現場での点群データの活用には、意味情報の付与や屋外での端末操作が求められるが、膨大な計算量から現場での利用は困難です。

///研究目標

本技術の活用により、現場監督の進捗管理や品質管理が自動化されて作業負担が軽減し、施工精度が向上することで手戻り工事のコストを削減します。

---要素技術

- 点群データを圧縮して効率的に処理する符号化技術
- 画像データを融合処理し、点群データを高密度化する技術
- AIを用いて、建設物の部材を自動的に認識する技術
- 普段利用しているタブレットやPCでも大容量の点群データを利用可能にするクラウドレンダリング技術

---適用ビジネス

点群の自動認識により部材を識別することで、構造物のBIMデータと現場で取得する点群データの自動照合を実施し、手戻り防止・進捗管理に活用可能。また圧縮技術とクラウドレンダリングによりデータ伝送、処理、共有を効率化
2025年2Qに技術を確立し、2026年1Qにサービスを開始する。

---市中技術差異点

点群データの取得から業務活用までのプロセス全体で実務に効果的な機能を具備しており、クラウド上でワンストップで利用可能。また、これまで点群データを扱うために高性能なPCが必要であったが、クラウド側で高精度の情報を処理してモバイル提供することが可能。